



学生コーディネーター
自主企画

ボランティア団体フェア
「サマボラ2018！」
～Find my Volunteer.～

報告

2018/07/02,03



7月2日(月)、3日(火)の2日間、本学南大沢キャンパスのインフォメーションギャラリーにて、ボランティア団体フェア「サマボラ2018!～Find my Volunteer.～」を開催しました。

「サマボラ2018!」は、ボランティア活動希望が増える夏休みを前に、学生とボランティアを募集している学内外の団体が直接出会い、参加につながるきっかけを提供するイベントです。今年で3回目の開催となりました。

各ボランティア団体によるブース出展に加え、今年も学生コーディネーターによる様々な特別企画を実施しました。

今年は梅雨明けが早く、予想よりもかなり気温が高い中での開催となりましたが、両日とも多くの学生が足を止め、関心のあるボランティア団体の説明を聞いていました。

・準備編

本イベントは、学生コーディネーターが主体となり企画・運営をしています。ブース出展に際して、どのボランティア団体に来ていただくかを首都大生のボランティアニーズをもとに話し合うことから始まり、団体との連絡調整、会場レイアウト、広報戦略など、役割を分担し合いながら準備してきました。

昨年度の「当日急にブースが設置されていて、何をやっているのかわからなかった」という実態を踏まえ、今年は、「学生が事前に企画を知ったうえで、当日来てくれるように」と、広報活動に力を入れて取り組みました。サマボラ開催の1週間ほど前には、生協広場やインフォメーションギャラリー、トムの家周辺で学生コーディネーターがチラシを配布しました。多くの学生に受け取っていただき、当日までに250枚以上のチラシを配布することができました。

今年のポスターデザインは、2年生の石川くんが担当しました。これからボランティアを始めたいという学生の前向きな気持ちが表れているような明るくデザインになりました。

・団体ブース

2日間で合計7分野13団体(学外団体9団体、学内団体4団体)がブース出展をしてくださいました。参加団体の活動分野は、「子

も」・「障がい児・者」・「国際」・「環境」・「スポーツ」・「路上生活者」・「復興・防災」と多岐にわたりました。

昨年に引き続き参加してくださった『東京八王子ビートルズ』は、今年の5月に行われたB2・B3入れ替え戦を制し、初めてB2リーグに昇格しました。バスケットボールが好きな学生や経験者のみならず、「八王子を盛り上げたい!」という思いのある学生が熱心に説明を聞いていたようです。



△「東京八王子ビートルズ」ブースの様子

「NICE(国際ワークキャンプセンター)」のブースには、特に多くの学生が訪れ、説明を聞いていました。国際分野でのボランティア活動については、日頃からボランティアセンターへ相談に来る学生も多く、首都大生の関心が高いように感じます。国際ボランティア活動に関心のある学生の中には、海外を訪れた経験がない学生も多かったのですが、ボランティア団体のスタッフから直接話を聞くことで、海外での活動を具体的にイメージすることができたのではないのでしょうか。

『カタリバ アダチベース』と『ひの社会教育センター』には、今年初めてサマボラに参加していただきました。それぞれ足立区、日野市で活動している団体ということで、荒川キャンパスや日野キャンパスに通う学生にとっても気軽に活動しやすい環境だと思います。

これからも全キャンパスの学生のニーズとつなげていき、ボランティア活動を始めるきっかけを提供していきたいと思えます。



開催前のチラシ配布

今年も、サマボラ開催前に生協広場やインフォメーションギャラリーなどでチラシを配布しました。当日サマボラに来てくれた学生の中には、事前に配布したチラシを見て来てくれた学生もいました。



特別企画「七夕～君の願いは。～」

七夕の時期ということで、多くの学生や教職員の方々に願いを込めた短冊を竹に飾っていただきました。この竹は、首都大の松木日向緑地で採れたものです。年間を通して緑地の保全活動を行っている松木日向緑地プログラムの学生が中心となって企画・準備しました。



特別企画「竹スポ2018!」

昨年、松木日向緑地プログラムの企画で行った竹水鉄砲合戦の際に使用した水鉄砲を使用し、的当てを行いました。

今年の夏も近隣小学校の子どもを招き、サル山を舞台に竹水鉄砲合戦を行う予定です。

・特別企画

ボランティア団体によるブース出展に加え、首都大ボランティアの機運を高めるために、学生コーディネーターが、『竹スポ2018！』『ポッチャ体験会』『オリンピッククイズ・パラリンピッククイズ！！』『七タ～君の願いは。～』『ゆるスポーツFLYING EGG』といった5つの特別企画を実施しました。

『竹スポ2018！』は、竹で作った水鉄砲で行う的当てです。この竹水鉄砲は、昨年、松木日向緑地プログラムで行った「サル山水合戦in首都大」の際に、松木日向緑地の竹で作成したものです。本学の学生に松木日向緑地の良さを知ってもらえる機会となりました。

『ポッチャ体験会』は、スポーツボランティアプログラムに参加している学生と連携して実施しました。昼休みの時間限定での実施でしたが、東京2020パラリンピックの公式競技種目でもある「ポッチャ」を、多くの学生に知っていただけたのではないのでしょうか。

『オリンピック・パラリンピッククイズ！！』は、昨年のサマボラで行ったオリンピッククイズに、パラリンピッククイズを新しく追加したものです。クイズの内

容につきましては、本学の特任教授であり、オリンピック研究をご専門にされている舂本直文先生に監修していただきました。

『七タ～君の願いは。～』では、インフォメーションギャラリー入口に竹を設置し、学生や教職員の方々に願いを記した短冊を飾っていただきました。ここで使用した竹も学生が松木日向緑地で伐採したものです。70を超える短冊が、風になびく様子がとても涼しげでした。

『ゆるスポーツFLYING EGG』は、一般社団法人世界ゆるスポーツ協会が開発した、だれもが楽しめるスポーツです。使用する道具を手作りするなど、力を入れて準備してきたこともあり、当日は多くの人に参加し、楽しんでいる様子が見られました。

・参加者からの声

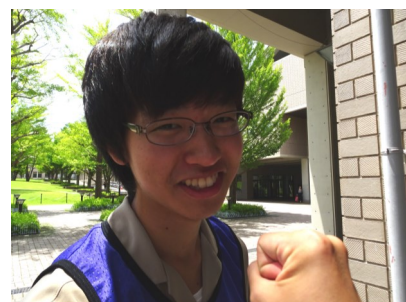
- ・「SCOKさんと同じようなボランティアをしていて興味をもった。」
- ・「ボランティアのことを知れる非常に良い機会だと思いました。体験コーナーなども楽しかったです。」



特別企画「ゆるスポーツFLYING EGG」

ゆるスポーツとは、年齢・性別・運動神経に関わらず、だれもが楽しめる新スポーツです。

今回実施した「FLYING EGG」は、フライパンに見立てたラケットで目玉焼きをパスし合い、落とさないようにお皿に載せるゲームです。本物そっくりの目玉焼きは、学生が粘土で形作るところから作成したものです。



学生コーディネーターの声

今回、私は広報チラシの作成を担当しました。今年は生協広場やインフォメーションギャラリーなどでチラシを積極的に配ったこともあり、たくさんの方に見てもらえたのではないかと思います。チラシがきっかけでサマボラに参加してくれた方が1人でもいたなら幸いです。また、中には、「外注したのかと思った。」と仰ってくださった方もいて、デザインした側としては、感無量でした。これからもっと、ボランティアをするきっかけをつくってあげたいと思います。

(石川 陸矢)



学生コーディネーターの声

コーディネーターによる特別企画として今年もパラリンピック正式種目のポッチャの体験会をしたところ、知っている方が多く昨年の成果を実感することができ、嬉しかったです。さらに、誰もが楽しめる"ゆるスポーツ"の「FLYING EGG」、東京2020に向けてオリンピック・パラリンピックのクイズの掲示をしました。

また、サマボラの時期が七タに近いことから、松木日向緑地で伐採した竹に短冊を飾るブースを設けたり、竹水鉄砲の体験会も行いました。

団体の方との交流や特別企画が皆さんの興味の発見の場になったら嬉しいです。今回関わってくださった学生やボランティア団体の皆さまありがとうございました。

(井上 七海)



出展団体

主な活動分野	団体名
学外団体	
子ども	八王子市立愛宕小学校／カタリバ アダチベース／ひの社会教育センター
障がい児・者	町田市生涯学習センター
国際	NICE（日本国際ワークキャンプセンター） / 八王子国際協会
環境	JUON（樹恩）NETWORK
スポーツ	東京八王子トレインズ
路上生活者	スーブの会
学内団体	
子ども	SCOK（スコック）
復興・防災	東日本きずなプロジェクト / 災害復興・都市防災研究室
環境	グリーンカーテンを世話し隊
特別企画	
竹スポ2018！／オリンピック・パラリンピッククイズ！！／ゆるスポーツ「FLYING EGG」／ポッチャ体験会／七タ～君の願いは。～	